

単元目標
【知】地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさを聞いたり言ったりすることができる。
【思】地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。
【主】地域のよさなどについて、伝え合おうとする。

つながる学び
 ・English Time ・特別の教科 道徳「白神山地」 ・総合的な学習の時間「赤米交流をしようin対馬」
 ・国語科「ようこそ、私たちの町へ」 ・社会科「日本とつながりの深い国々」 ・学校行事「義民祭」

| 評価(◎達成者、△未到達者の人数と氏名を記入) | |
|--------------------------|--|
| ◎ <input type="text"/> 人 | |
| △ <input type="text"/> 人 | |

単元ゴールの言語活動
 市内の先生方や留学生と地域のよさについて伝え合う。

◎(顕著に目標達成)の具体的な姿
 5文以上で地域のよさを伝える。相手の話に合ったリアクションを返す。例文や辞書を参考にして、正しい語順で書く。

| 必要な表現 | 必要な語彙 |
|---|---------------------------|
| We don't have (department store).We have(Akagome culture). We can (experience Akagome culture).Akagome culture is ~ We have to connect Akagome culture to the future generation. I see.I think so too.That's nice.I want to go. | 施設・建物・状態・気持ち、動作, have can |

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧(本時) |
|----------------------|---|--|--|---|--|--|--|---|
| ねらい | 地域にあるものや施設を表す表現に慣れ親しむ。 | 地域のよさを表す表現に慣れ親しむ。 | 地域の何をどんな表現で伝えたらよいか考える。 | 地域のよさを伝える表現に慣れ親しむ。 | 地域のよさについての文を書き写すことに慣れ親しむ。 日本語と英語の語順の違いに気付く。 | 大学生と、進んで地域のよさについて自分の考えや気持ちを伝え合おうとする。 | 進んで地域のよさについて自分の考えや気持ちを伝え合おうとする。 | 留学生や参観者に、地域のよさについて自分の考えや気持ちを伝えようとする。 留学生のことや留学生が住む地域のよさを、知ろうとする。 |
| 帯活動 | Small Talk ・教師が自分のふるさとについてポスターを使って紹介する。 | Small Talk「Where is this?」 ・can を使って施設を説明しどこかを当てる。 | Small Talk「Where is this?」 ・can を使って施設を説明しどこかを当てる。 | Small Talk「Where is this?」 ・can を使って県を説明しどこかを当てる。 | Small Talk「Where is this?」 ・can を使って県を説明しどこかを当てる。 | | | |
| 導入 | ・単元ゴールの言語活動を知り、活動の見通しをもつ。 | ■ポインティングゲーム | | | | 自己紹介 ■質問タイム | | 自己紹介 ■質問タイム |
| 中心活動 Activity | <ul style="list-style-type: none"> ■【Let's listen 1】 P. 27 ・施設の言い方を知る。 ・音声を聞いて、どの町のどこかを聞き取り、番号を書く。 ▲新本にあるものを発表し、英語での表現を知る。 ●Small Talk We have～ We don't have～ We want～ ▲中間交流 ・リアクション ・言いたかった施設名 ●Small Talk □ポスターに使えるような表現 We have Akagome culture. ・振り返り | <ul style="list-style-type: none"> ▲P. 27から住んでみたい町を一つ選んで紹介する。 We don't have～. We have～. We can～. ■ペアで紹介した町を当て合う。 ▲中間交流 ・リアクション ・言いたかったこと ●ペアを変えて町を紹介。 □ポスターに使えるような表現 We don't have a library. ・振り返り | <ul style="list-style-type: none"> ・3グループに分かれて、地域のどんなところを伝えるか考える。 ① 赤米文化 ② 義民祭 ③ 裏山 ▲どんな表現で伝えたらよいか話し合う。 We don't have(). We have(). ()is (説明). We can (よさ) . (よさ) . □ポスターに使えるような表現 Gimin festival is(義民4人衆をたたえるもの) ・振り返り | <ul style="list-style-type: none"> ●3グループに分かれて、地域のよさを伝える発表の練習をする。 ●一つのグループが発表し、アドバイスをし合う。 ▲中間交流 ・発表に対してどんなリアクションができそうか。 ■残りのグループが発表し、リアクションを返したりアドバイスをしたりする。 □ポスターに使えるような表現 We can meet Tanegashima and Tsushima's friends. ・振り返り | <ul style="list-style-type: none"> □3グループそれぞれが分かれて、地域のよさを伝えるポスターを作る。 ・写真を貼ってタイトルを書いたり、前時までに書いた文を写したりする。 ・振り返り | <ul style="list-style-type: none"> ●3グループそれぞれが分かれて、大学生に発表を聞いてもらう。 ・質問をもらって、既習の表現で答えられるようにする。 ▲発音やジェスチャー、ポスターにアドバイスをもらい、練習する。 ●全体で発表し合い、よくなったところを認め合う。 ▲大学生のふるさとの紹介を聞く。(事前に、使って欲しい表現とポスターのお願いをしておく。) ・大学生へのお手紙を振り返りとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ●大学生からのアドバイス共有して、3グループに分かれて、地域のよさを伝える発表の練習をする。 ▲質問や困りそうな場面を想定して、そのときの表現を考える。 ■ALTに発表し、質問してもらい、やり取りをする。 ▲小中連携にふるさとのよさを発表してもらい、リアクションや質問をする。 □ポスターに使えるような表現 We can meet Tanegashima and Tsushima's friends. ・振り返り | <ul style="list-style-type: none"> ■●3グループが留学生と参観者に、地域のよさを発表する。 ・1グループに1つ質問と感想をもらう。 ▲留学生のふるさとの紹介を聞く。(事前に使って欲しい表現をお願いしておく。) ▲留学生に質問や感想を伝え、交流する。 ・振り返り |
| 評価場面 | | Small Talk(知) | 話し合い・Small Talk(主) | 話し合い・Small Talk(思) | 書き写す(知)(思) | 発表・発表を聞く(思) | 発表・発表を聞く(思) | 発表(思)聞く(主) |